

『シンプロット社のドライスポット用浸透剤』

《用途に合わせて選べる3つの浸透剤》

長年の間に自然に堆積した土壤中の刈かすやサッчиが分解して有機酸となり、土壤粒子表面に撥水効果のある膜を形成して水の浸透を妨げ、土壤を乾燥させるのがドライスポット (LSD:Localized Dry Spot) です。この症状を回避または回復させるために、最新で独自の技術を利用し、用途目的に合わせた3つの商品を用意しております

リライ2

月1回散布
定期予防用



リライ2は予防的土壤浸透剤で、特殊な配合により高温期のドライスポット症状の発生を抑える効果を持っています。他の商品のように単一の浸透剤成分ではなく、複数の成分を混合することによってドライスポット症状の発生を抑える効果があります。リライ2の試験結果では多様な土壤条件でも安定してドライスポットを予防する効果が出ております。リライ2は早春のあまり早い時期に使用する必要はありません。乾燥状態が来る1ヶ月前から散布することをお勧めいたします。散布後には葉から薬剤を落とすために散水をしてください。残効1ヶ月

【使用方法】

m^2 あたり薬量 1.3-1.9cc を散布水量 80cc 以上で散布する。乾燥期の1ヶ月前から月に1回の散布を推奨。ひどい乾燥には 1.9cc の散布を推奨。散布後に葉表面から薬剤を落とすために散水をすること。芝生にストレスがかかっているときには使用しない。

ブリリアンス

残効3ヶ月
長期予防用



ブリリアンスの化学構造は他の浸透剤とは全く違います。長期間にわたり効果を持続するために独特の高濃縮の浸透剤分子を配合しています。ブリリアンスの高濃縮ポリマーが長期間にわたり通常の芝の生育に適した湿度を保てる土壤を維持し、高温ストレスのかかる時期までそれを保持します。また、安全性の点でも高く評価されています。残効3ヶ月

- ・根圏の撥水状態を3-4ヶ月間抑える
- ・根圏の水の移動を改善する
- ・芝の状態を高温乾燥する期間に維持する
- ・適応性-高温乾燥シーズン前に処理できる

リウェット

短期集中効果
発生時用



ドライスポット症状から回復させるため、根圏の乾燥した土壤に強力にしかも広範に水の浸透を広げます。その独自の強力な浸透と広がりがドライスポットの撥水性を解消致します。残効2~3週間

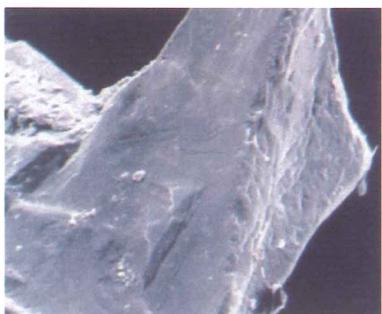
- ・土壤の粒子への水の浸透性を改善する
- ・水の撥水性を急激に弱らせる
- ・水の保持力と浸透拡散性を改善する
- ・ドライスポットによるダメージの回復を助ける

【使用方法】

薬量 5cc 水量 200cc 敷布一回、もしくは薬量 2.5cc 水量 80cc 以上で散布し7-10日後にもう一度薬量 2.5cc 水量 80cc 以上で散布する。散布後に葉から薬剤を落とすために散水をすること。芝生にストレスがかかっているときは使用しない。

ドライスポットの原因と浸透剤の仕組み

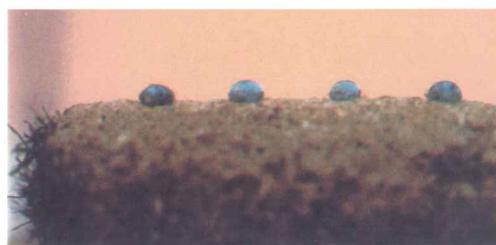
土壤中の有機物（根の残渣、サッチ、刈りかす、微生物の死骸、等）が長年時間をかけて分解し、有機酸（フミン酸等）などになる。その有機酸が土壤粒子、砂粒子に強力な接着効果をもって付着して被覆してしまう。この状態がドライスポット症状を発生させる、疎水性土壤の始まりなのです。



健全な砂粒子表面



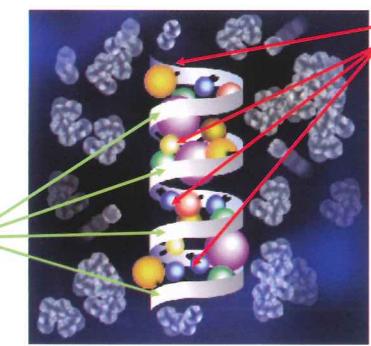
有機酸、フミン酸によって被覆された砂粒子



撥水性土壤の水滴投下試験

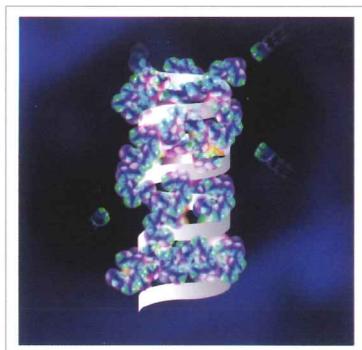
ドライスポットを引き起こす有機酸の仕組み

水をはじく部分
非極性炭素背骨

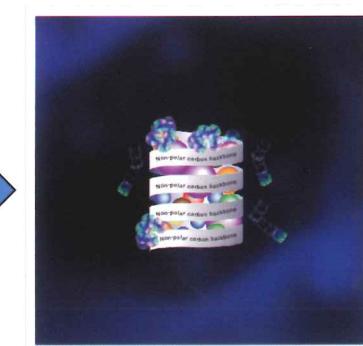


土壤中の有機酸（模式図）

極性グループ
・水を引きつ
ける部分



極性部分が水分子を引きつけて集める（土壤温度が低く水分が十分にある状態）冬から春の状態

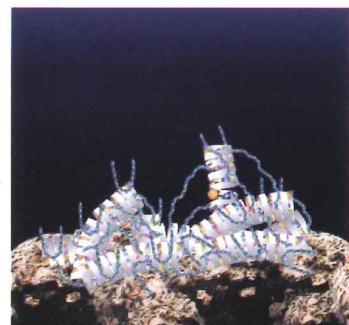


高温乾燥状態になると水分が奪われ有機酸の形が壊れて非極性（水分子をはじく部分）が露出し、疎水性物質に変わる（夏の状態・ドライスポット状態）

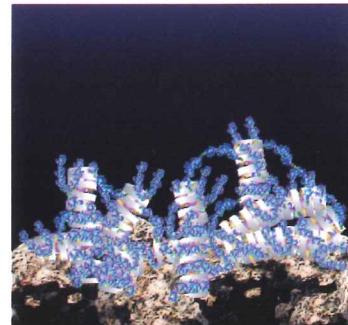
浸透剤成分の働き



土壤粒子・砂粒子の表面に付着した有機酸が乾燥して非極性部分（水をはじく部分）で土壤粒子を覆つてしまい疎水性土壤を形成する



浸透剤成分が土壤粒子に付着した疎水性有機酸に付着する



有機酸に付着した浸透剤成分が土壤の広範囲から水分子を集める

疎水性土壤は単にドライスポットを発生させるだけでなく、散水の均一な浸透や、肥料等の養分の均一な浸透を妨げ芝生の生育の足かせとなります。

販売代理店：

総輸入元： シンプロット T&H 社業務委託代理店
株式会社 ヒューエンタープライズ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-28

Tel: 03-5225-2647 Fax: 03-5225-2648

<http://www.hugh-enterprise.co.jp>

info@hugh-enterprise.co.jp

ver2015